

6月29日からの大雨による被害及び 消防機関等の対応状況（第15報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和元年7月31日（水）16時00分

消防庁 応急対策室

※下線部は前回からの変更箇所

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・ 梅雨前線と低気圧の影響により、6月29日から西日本を中心に大気の状態が非常に不安定となり、西日本の太平洋側では局地的に激しい雨となった。
- ・ 九州南部地方では、降り始めの6月28日からの総降水量が1000ミリを超える記録的な大雨となった。
- ・ 梅雨前線は、7月6日頃にかけて西日本から東日本に停滞し、西日本から東日本で局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降った。

2 被害の状況

(1) 人的被害 7人

【鹿児島県】

- 死者 2人（鹿児島市、曾於市）
- 重傷 1人（薩摩川内市）
- 軽傷 4人（鹿児島市、曾於市、志布志市2）

(2) 住家被害 523棟

【石川県】

- 一部破損 1棟（能登町）
- 床下浸水 1棟（穴水町）

【熊本県】

- 全壊 1棟（宇城市）
- 半壊 1棟（山都町）
- 床上浸水 4棟（上天草市3、宇城市）
- 床下浸水 21棟（熊本市、宇土市、上天草市10、宇城市6、天草市、氷川町、芦北町）

【宮崎県】

- 一部破損 3棟（日南市2、小林市）
- 床上浸水 8棟（都城市）
- 床下浸水 64棟（宮崎市、都城市63）

【鹿児島県】

- 全壊 8棟（鹿児島市2、日置市3、曾於市、霧島市2）
- 半壊 6棟（鹿児島市、日置市4、志布志市）
- 一部破損 26棟（鹿児島市20、曾於市、霧島市2、南さつま市2、志布志市）
- 床上浸水 80棟（鹿児島市、鹿屋市13、日置市3、霧島市38、いちき串木野市22、南さつま市2、姶良市）
- 床下浸水 299棟（鹿児島市、鹿屋市79、垂水市、日置市9、曾於市3、霧島市107、いちき串木野市89、南さつま市5、姶良市5）

(3) 非住家被害 28棟

【鹿児島県】

- 公共建物 1棟（垂水市）
- その他 27棟（鹿児島市14、鹿屋市5、日置市5、南さつま市2、東串良町）

3 避難指示（緊急）等の状況（7月5日11時00分時点）

発令されていた避難指示（緊急）及び避難勧告は、すべて解除

4 避難の状況（7月19日9時00分時点）

避難者なし

5 都道府県における災害対策本部の設置状況

【愛知県】 7月4日 1時15分 設置 → 7月4日 16時30分 廃止
【鹿児島県】 7月3日 9時45分 設置 → 7月5日 12時00分 廃止

6 地元消防機関の対応

被災地では、地元消防機関（消防本部、消防団）により、危険地域の住民に対する早期避難の呼びかけなど、警戒活動等を実施

鹿児島県消防防災ヘリコプターにより情報収集等の活動を実施

7 消防庁の対応

6月28日 16時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
17時00分 応急対策室長を長とする消防庁災害対策室を設置（第1次応急体制）
→7月12日 17時30分 廃止
17時05分 都道府県、指定都市に対し「6月30日から7月1日頃にかけての大雨についての警戒情報」を発出

6月30日 15時00分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
16時14分 都道府県、指定都市に対し「今週半ばにかけての大雨についての警戒情報」を発出

7月 2日 9時40分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
7月 3日 10時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
7月 4日 7時50分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
7月 5日 13時00分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席
7月24日 8時15分 政府調査団として、地域防災室長を鹿児島県に派遣

問い合わせ先
消防庁応急対策室
高橋・濱田・高木・中尾
TEL 03-5253-7527
FAX 03-5253-7537